

第6章 パテントマップ作成ソフトを利用した マッピング事例

- 6 - 1 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング紹介
- 6 - 2 経口薬の苦みマスキング技術
- 6 - 3 浴槽排水関連技術
- 6 - 4 閲覧制限技術

第 6 章 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング事例

6 - 1 パテントマップ作成ソフトを利用したマッピング紹介

本章では、今回作成したマッピングソフトを利用したマッピング事例を紹介する。

事例で利用するテーマは、経口薬関連で薬を飲んだときの苦みをマスキングする技術、浴槽排水関連技術、ホームページの閲覧制限関連技術である。テーマ毎に、検索結果の特許出願件数推移グラフ表示、スコアリング処理、特許公報相互の引用・被引用関係マッピングを組み合わせて提示する。

6 - 2 経口薬の苦みマスキング技術

本節では、薬を飲む際の苦みマスキング技術のマッピングを行う。

ここでは、検索初心者の研究者を想定してテキスト検索から開始することとした。公報全文に「経口」が含まれる、公報全文に「苦み」「苦味」のいずれがあるいは双方が含まれる、公報全文に「マスキング」が含まれる、公報全文に「フレーバー」が含まれる特許公報、以上の要素を共通集合で検索すると 120 件が抽出された(図表 6 - 1)(図表 6 - 2)。

(図表 6 - 1) 当初の検索



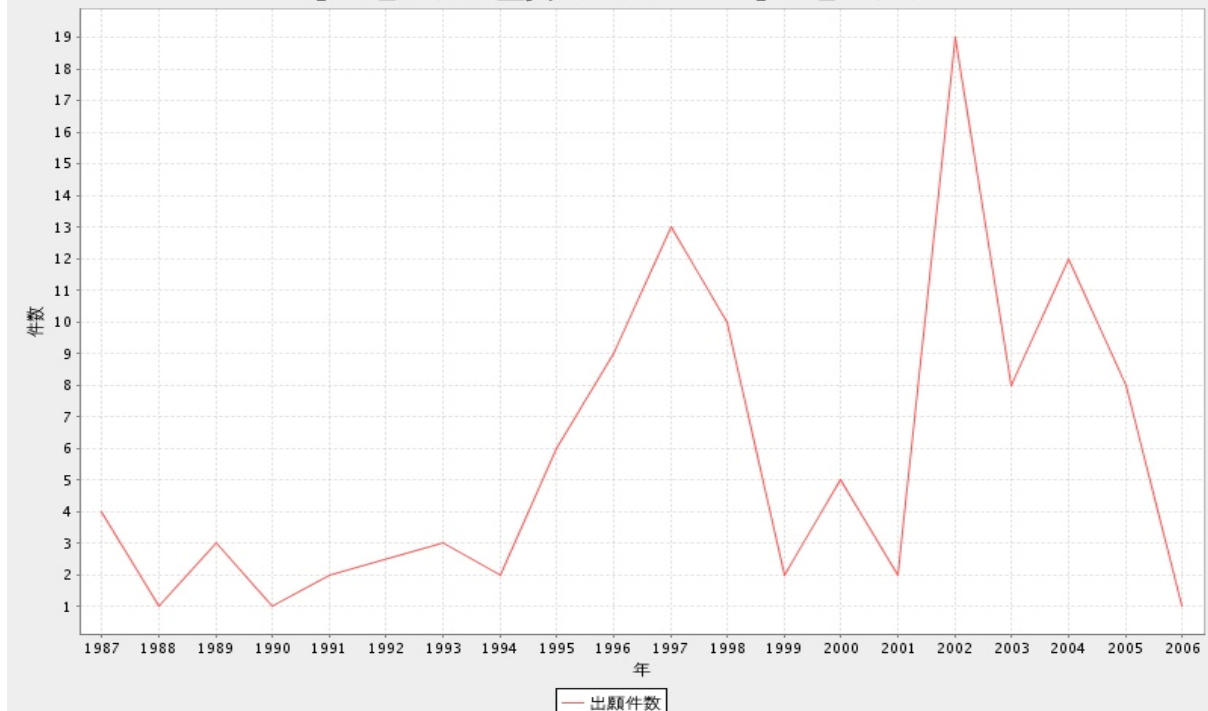
(図表 6 - 2) 当初の検索で抽出された 120 件の特許公報 注) 1 頁目のみ表示した



次に、この 120 件の経年別出願件数をマッピングする (図表 6 - 3)。

(図表 6 - 3) 当初検索で抽出された 120 件の経年別出願数推移

全文に「経口」が含まれる 全文に「苦み」「苦味」のいずれかが含まれる 全文に「マスキング」が含まれる 全文に「フレーバー」が含まれる



図表 6 - 3 を見ると、本テーマで検索した特許出願数推移には二つのピークがあり、各々 1997 年に 13 件、2002 年に 19 件となっている。そこで、1997 年を例に、出願された 13 件を調べると「三栄源エフ・エフ・アイ株式会社」が、スクラロースという甘味料、化学式 $C_{12}H_{19}Cl_3O_8$ に関する出願を集中的に出願していることがわかる（図表 6 - 4）。

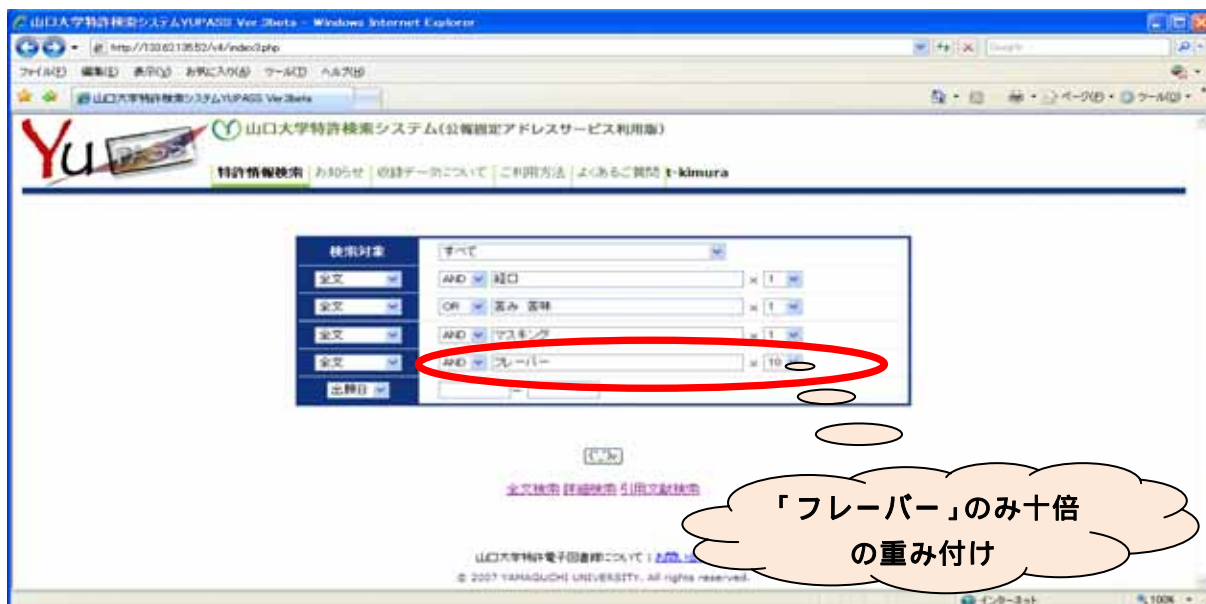
（図表 6 - 4）当初検索で抽出された 120 件で 1997 年の特許出願

文書番号	名称	出願人
特許1999-106254	菓物の香味の隠蔽経口剤	エーザイ株式会社
特許1999-018723	高エネルギーゲル状栄養組成物	明治乳業株式会社
特許1998-262601	清味のマスクング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許1998-248501	清味のマスクング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許1998-243776	清味のマスクング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許1998-215793	清味のマスクング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許1998-202921	水性経口液剤	武田薬品工業株式会社
特許1998-167988	経口液剤	武田薬品工業株式会社

特許1998-243776	清味のマスクング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許1998-215793	清味のマスクング方法	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
特許1998-202921	水性経口液剤	武田薬品工業株式会社
特許1998-167988	経口液剤	武田薬品工業株式会社

次にスコアリング処理によるマッピングを行う。公報全文に「経口」が含まれるものを一倍、公報全文に「苦み」「苦味」のいずれかあるいは双方が含まれるものを一倍、公報全文に「マスクング」が含まれるものを一倍、そして公報全文に「フレーバー」が含まれるものを十倍として重み付け検索を行った（図表 6 - 5）。

（図表 6 - 5）検索語句で「フレーバー」のみを十倍の比重でスコアリング



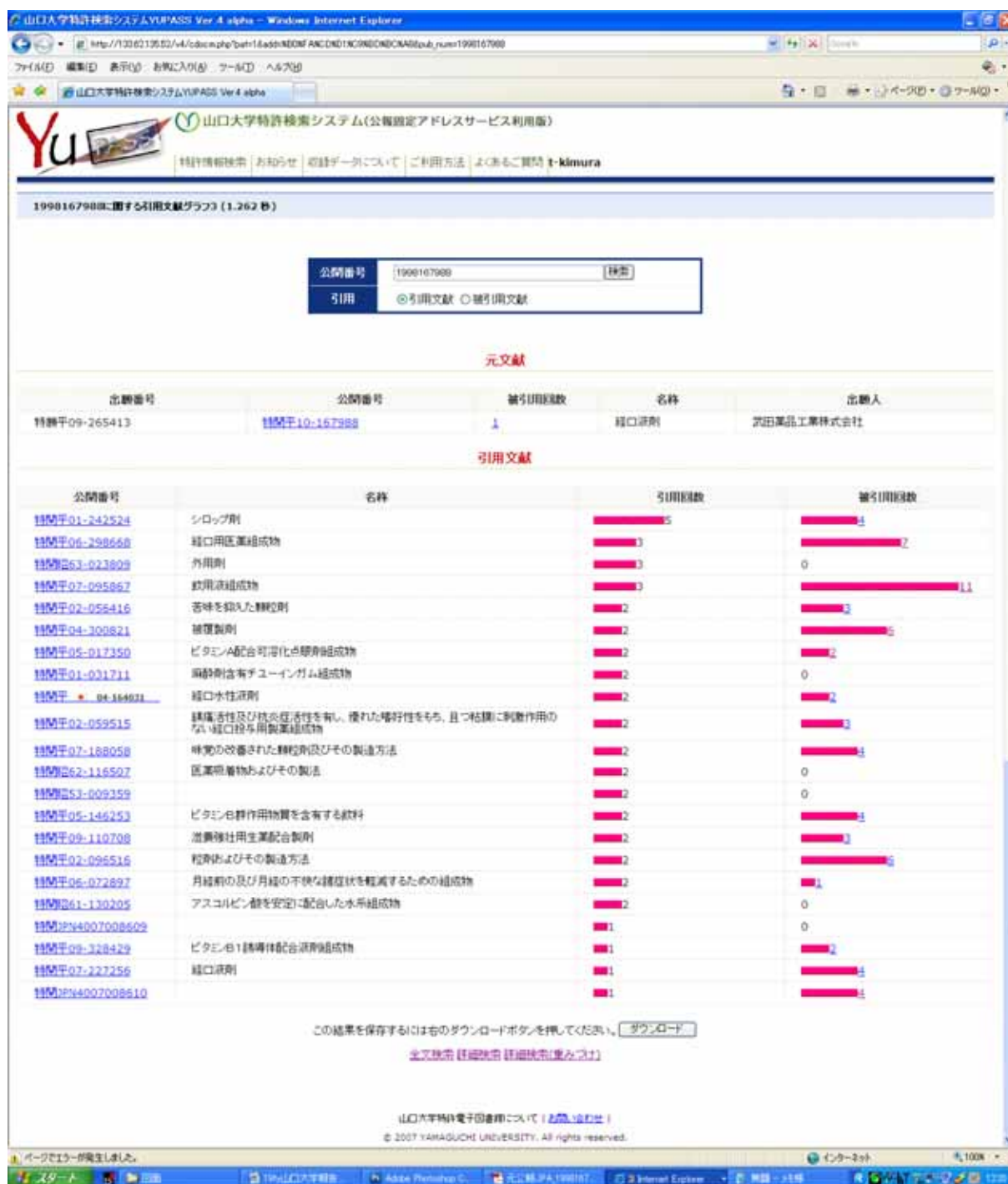
スコアリングによるマッピング結果を図表 6 - 6 で表示する。ここで最上位に表示された公開特許公報平成 10 - 167988 号に絞り、次頁以降で引用関係マッピングを行うこととする。

（図表 6 - 6）「フレーバー」のみ十倍でスコアリングした結果 注）1 頁目のみ表示した

文書番号	名称	出願人
特開1998-167988 要約	経口薬剤 【目的】【課題】苦味成分を含む経口薬剤の風味の改善。 【解決手段】苦味成分を含む経口薬剤にニープルフレーバー剤を添加する。	武田薬品工業株式会社
特開1993-017345 要約	経口摂取可能な活性成分のための非アルコール性併用系 【目的】【課題】経口剤として構想されているが人に有害であるアルコールを使用しないで、高濃度の活性成分を経口摂取併用系に含有させる。【構成】1種類以上の界面活性剤と、非水溶性の微細粒子、フレーバー剤を含む添加物とを併用して含有させる。界面活性剤は添加物に対する水の表面張力を低下させ、添加物を溶液中に分散可能とする。	スペクトラム エンシューマード プロダクツ カンパニー インコーポレイテッド
特開2005-053861 要約	固形状組成物 【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸誘導体又はそれらの塩を基質に含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】(A)の成分(A)及び(B)、(A)のクロロゲン酸、クロロゲン酸誘導体又はそれらの塩、(B)の糖類又は酸類誘導体を含む、成分(A)と成分(B)の含有比率(質量比)が、(A):(B)=1:10~1:1でなる固形状組成物。 【優位点】なし。	花王株式会社
特開2005-052111 要約	クロロゲン酸誘導体含有組成物 【課題】クロロゲン酸、クロロゲン酸誘導体又はそれらの塩を高濃度含有しても香味の良好な固形状組成物の提供。 【解決手段】(A)の成分(A)及び(B)、(A)のクロロゲン酸、クロロゲン酸誘導体又はそれらの塩、(B)のカルシウム化合物を含む、成分(A)と成分(B)の含有比率(質量比)が、(A):(B)=1:10、0.9~1:22であるクロロゲン酸誘導体含有組成物。 【優位点】なし。	花王株式会社
特開2006-254791 要約	カゼイン加水分解物含有組成物 【課題】苦味等の不愉快な味が高度にマスクされたカゼイン加水分解物含有組成物の提供。 【解決手段】カゼイン加水分解物、ショ糖、フレーバー、及びグレープフルーツフレーバーを含むことを特徴とするカゼイン加水分解物含有組成物。 【優位点】なし。	森永乳業株式会社 他1名
特開2007-515950 要約	タバコ組成物 本発明はタバコ組成物ならびにその使用および製造の方法を特徴とする。本発明の組成物はさまざまな技術に懸念することができる。技術としては、フィルム、錠剤、成形錠、ガム、消臭剤、干渉性マニッシュ、および中空錠剤が挙げられる。タバコに添加して、組成物は、フレーバー、色、および非明確に記述されるようなその他の添加物を含んでもよい。組成物は、経口摂取が可能であってもよい。例示的な組成物およびその製造の方法が非明確に記載される。	ユーエス スモークレス タバコカンパニー
特開2006-504620 要約	味の経口感調整および方法 水と混合したときに実質的に香味のない味の経口感調整剤を形成する動植物性味の製造に経口感調整剤は溶液中に溶解性のある薬物、好ましくはアミノ酸、またはイオン交換樹脂による非質的に香味のない味の経口感調整剤を形成させる製造に提供される。経口感調整剤は、このマスクング方法および方法はそれ以上で説明されたような特定の香味をマスクングする方法も提供される。	プリストルー・マイヤーズ スウィップ カンパニー 他1名
特開2003-121311 要約	内服剤組成物、それを含む内服剤製品 【目的】【課題】高濃度の糖類を含む、味の悪い内服剤組成物において、糖の析出防止した内服剤組成物、及び、該内服剤組成物を含み、キャップ閉鎖部における糖の析出防止した内服剤組成物の提供。 【解決手段】糖、単糖、キレート、結晶性非晶性糖アルコール、及び、エリスリトールからなる少なくとも1種以上の糖類を10~80g/kg (g/100mL)と、グリセリン、含有量とを特徴とする内服剤組成物である。pHが、3.0~6.0である糖類が好ましい。また、糖類製キャップを有する管状に、内服剤組成物を含む内服剤製品であって、該内服剤組成物が、前記内服剤組成物である内服剤組成物である。	ライオン株式会社
特開1995-163285 要約	チョコレート 【目的】【課題】ペプチドの香味を殆ど感じることなく摂取することのできる、新規なペプチド入りチョコレートを提供することを目的とする。【構成】必須の成分としてペプチドとカカオニオイの原料となるココア、チョコレート、【原料】チョコレートに含有するココアの原料(砂糖を含む)と必要に応じて添加するココア、これによって(従来の)添加物(砂糖)とココアは香味の両方を同時に提供できる。従って、従来のように砂糖とココアを同時に提供することができるとなる。	不二製菓株式会社

公開特許公報平成 10 - 167988 号で引用されている特許公報のマッピング (図表 6 - 7)。

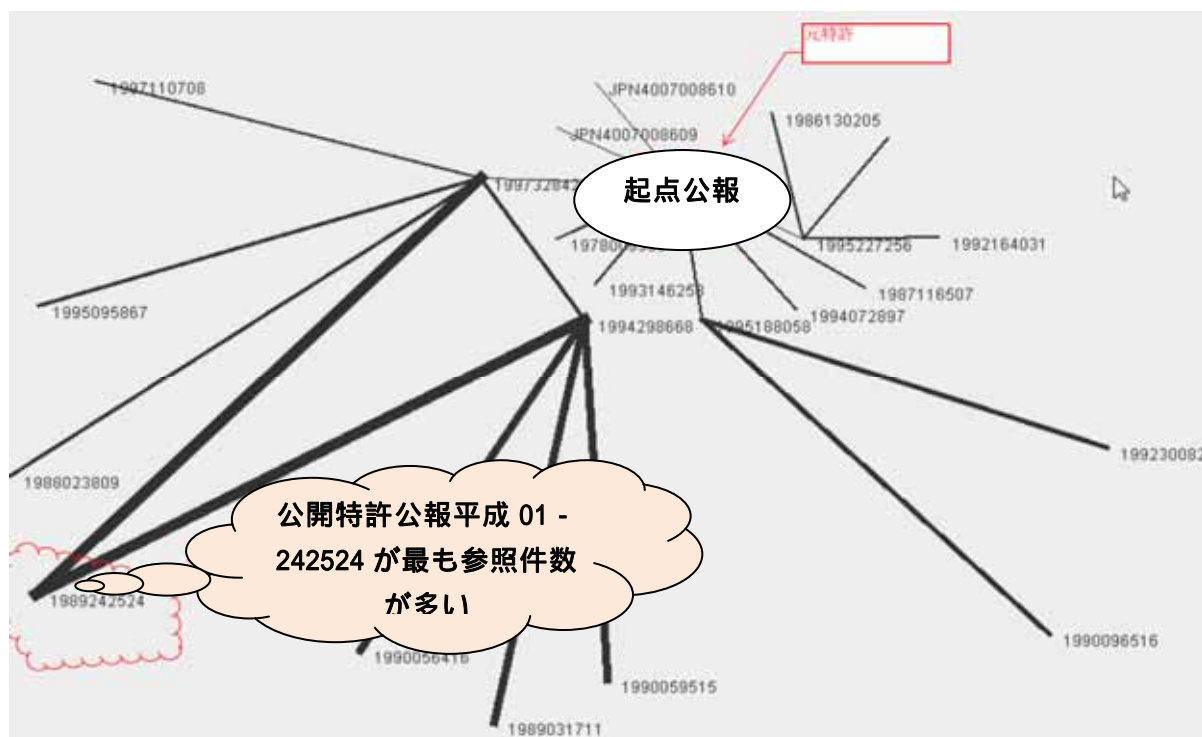
(図表 6 - 7) 公開特許公報平成 10 - 167988 号の引用関係



上記のマッピングを参考に、リスト中で被引用回数が多い特許公報の被引用関係を更に調査すると効率的な研究が可能である。

次頁に、これらの引用関係を特許群で検討する (図表 6 - 8)。

(図表 6 - 8) 公開特許公報平成 10 - 167988 号の引用関係特許群



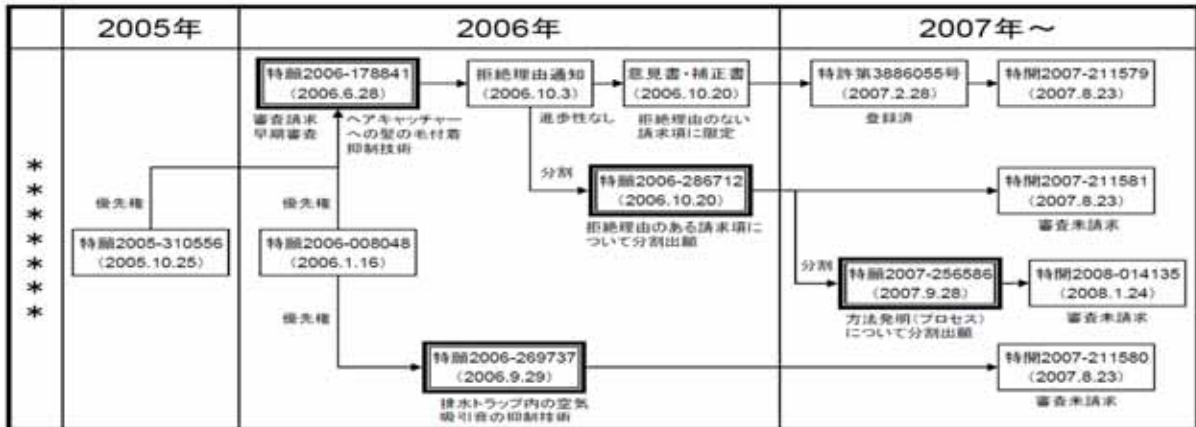
最も参照件数(被引用件数)が多い公報は、公開特許公報平成 01 - 242524 で発明の名称は「シロップ剤」である。出願日は 1988 年 3 月 22 日、この時点でシメチジン等の経口投与時に苦味をマスキングする技術としてグリチルリチン酸またはその塩と甘味料を適切な比率で加えるシロップ剤を調整する技術が開示されていることになる。

6-3 浴槽排水関連技術

本節では、前節と同様の手法を利用して、浴槽配水関連技術マッピングを行う。

引用・被引用関係の起点となる公報は、あらかじめテキスト検索で絞り込んだ公開特許公報 2007-211579 号を利用する。この出願の一部は特許第 3886055 号として登録されている。

(図表 6-9) 公開特許公報 2007-211579 号の出願経緯



本出願では、特許第 3886055 号として登録された後に公開特許公報 2007-211579 号が発行されているため、別途、山口大学の学生が手作業で作成した公開特許公報 2007-211579 号の出願経緯図を参考資料として示した(図表 6-9)。

次に、図表 6-10-1 から図表 6-10-5 で本公開公報の引用関係マッピングを表示する。

(図表 6-10-1) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係



(図表 6 - 10 - 2) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	特許名称	引用数	引用元
特開2000-001888	浴室ユニットの排水構造	4	2
特開09-195248	浴室	4	3
特開2005-040942	排水トラップ	4	3
特開10-176355	浴室ユニットの床パン	4	2
実公報59-102669		4	2
特開2004-026144	排水トラップ	4	2
実公報48-042746		4	2
実公報05-040377	排水トラップ機構付きの排水パン	3	2
実開平06-087478	浴室ユニットにおける排水装置	3	2
特開平08-296264	排水パン構造	3	2
実公報56-025774		3	2
実開平03-013373	排水トラップ	3	2
実公報63-151572	排水装置	3	2
特開2001-098603	排水トラップ	3	3
特開平09-088143	床パン	3	5
実開平01-105583	浴室	3	5
実公報49-005261		3	5
特開2004-225243	接続構造	2	1
特開平02-058644	浴室装置	2	2
特開2005-180077	浴室用排水用型排水トラップ装置	2	1
実公報62-031177	新型排水トラップ	2	1
特開2000-179021	排水パンおよびこの排水パンへの浴槽の設置構造	2	1
実公報49-007321		2	1
特開2004-278013	浴室の配管構造及びそれらに用いられる排水トラップ	2	1
実開平06-025368	浴室の排水床パン	2	1
特開平11-161854	排水トラップ	2	3
実公報63-031181	排水管遮断防止具	2	3
特開平11-043976	排水トラップ	2	1
実公報59-056277		2	1
実公報06-023020	浴室ユニットの浴槽排水構造	2	1

(図表 6 - 10 - 3) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	特許名称	引用数	引用元
特開平09-025655	排水接続装置およびその方法	2	2
実開平 04-028373	排水床パン	2	2
実開平05-022663	配管用ジョイント	2	2
特開2004-278099	浴室の排水トラップ	2	1
特開平07-160197	オーバーフロー排水遮断金具	2	1
実公報61-036612		2	1
実公報57-058377		2	1
特開平07-026608	浴室の排水構造	2	5
実公報49-115946		2	5
特開平08-229883	排水装置	2	2
特開平08-049273	排水口用簡易フィルター	2	3
実公報61-015104		2	2
特開2004-068328	浴室の排水ユニット	2	1
実開平 04-054389	管継手用防錆コブ	2	1
WO95020077		2	1
実公報57-133281		2	1
特開平07-216949	排水部の構造	2	1
実開平05-073068	排水トラップ	2	1
特開2895530	排水トラップおよび排水トラップを備える排水構造	2	1
特開平09-209430	濾過シート	2	2
特開平08-270034	ユニットバスの排水構造	2	2
特開2005-069250	排水トラップ	2	1
特開2001-140318	排水トラップ	2	1
特開平10-008522	排水トラップ	2	3
実公報587029		2	3
実公報57-128664		2	3
特開2000-319965	浴室ユニットの排水構造	2	1
特公報53-023538		2	1
実公報50-045830		2	1
特開2000-291097	浴室ユニットの排水構造	2	2

(図表 6 - 10 - 4) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	特許名称	引用数	被引用数
実公平 04-097239	排水トラップ	2	2
特開2002-054205	浴室	2	1
実開平 04-108661	浴室ユニットにおける排水構造	2	1
特開2002-313914	排水トラップ	2	1
実公開04-069653		2	1
実公開03-161964	床パン排水構造	2	1
実公開02-088261		2	1
実公開99-031670		2	1
実開平 04-124589	設備ユニットの排水構造	2	1
実公開98-031545		2	1
特開2005-314997	排水トラップ	2	1
特開2004-044318	排水装置	2	2
実公開00-027190		2	1
特開2001-107412	ユニットバスの排水装置	2	1
特開2001-149256	洗い槽付浴槽の構造	2	1
特開2001-152508	排水トラップ	2	1
特開平10-176357	浴室ユニットの床パン	2	1
特開2005-146795	浴室ユニットの排水装置	2	1
特開平06-206907	排水トラップの製造方法	2	2
特開2002-336302	排水装置	2	2
特開2002-115298	ユニットバスの排水トラップ	2	1
特開平05-148878	床排水トラップ	2	1
特開2005-009161	排水トラップ	2	1
特開062-215737	臭気トラップ	2	0
特開2005-009160	排水トラップ	2	1
実公開03-157385	防水パン	1	1
実公平06-008783	防水パン	1	1
実公平01-042369	洗たく排水誘導路を有する排水管用臭気装置	1	1
実公開50-015410		1	1
実公平 04-061239	空調ダクトの接続部構造	1	1

(図表 6 - 10 - 5) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係 続き

特許番号	特許名称	引用数	被引用数
特開平07-279210	排水トラップ	1	1
実公開99-151562		1	1
実公開01-152074	ユニットバスルーム用排水パン	1	1
特開2000-303528	浴槽排水装置	1	1
特開平01-121421	床パン	1	1
実公開04-011433		1	1
実公平07-026458	ユニットバスルーム	1	5
特開069-166791	ホース接手	1	0
実公平01-150668	浴槽の排水口取合構造	1	0
実公平03-113071	浴槽の排水装置	1	0
実公開03-050964	浴槽の低位設置可能な浴室パン	1	0
実公平 04-066491	ホース接続具	1	0
特開2003-056036	低床浴室用の排水トラップ及び浴室ユニット	1	1
実開平06-057972	防水パン	1	1
実公2527327		1	1
特開平09-268626	排水トラップ	1	1
実公開03-065776	排水トラップ	1	1
特開平07-279208	排水トラップ	1	1
実公開01-034621		1	1
特開2000-080695	排水トラップ	1	1
実公平 04-041572	流しの排水トラップと排水ホースの接続構造	1	1

この結果を保存するには右のダウンロードボタンを押してください。 [ダウンロード](#)

[全文検索](#) [詳細検索](#) [詳細検索\(重みつき\)](#)

山口大学特許電子図書館について | お問い合わせ |
© 2007 YAMAGUCHI UNIVERSITY. All rights reserved.

前頁までの公開特許公報 2007-211579 号引用関係マッピングで、最も被引用数が多い公開特許公報平成 03-260230 号について過去方向に引用関係を調べると引用文献は存在しなかった。従って、本出願が重要特許・基本特許である可能性が高いと思われる。

(図表 6 - 11) 公開特許公報平成 03-260230 号の引用関係

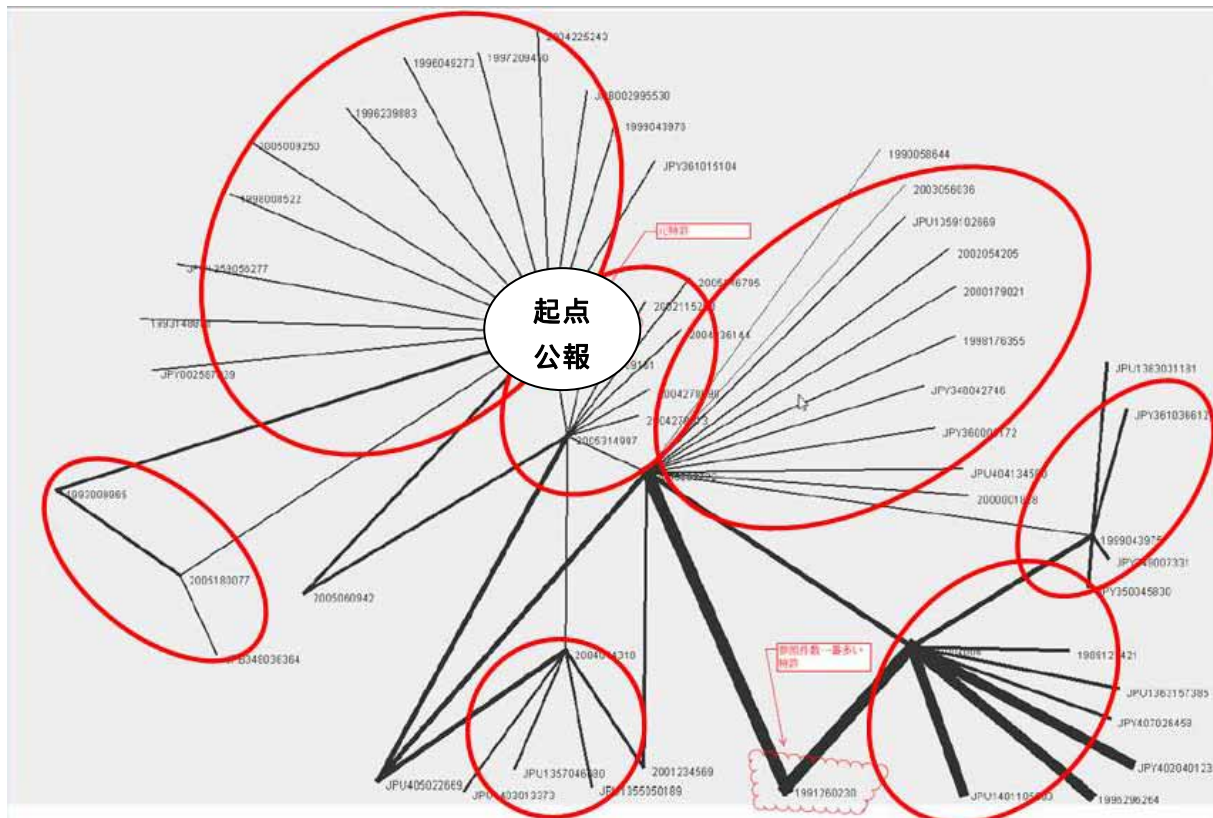


(図表 6 - 12) 公開特許公報平成 03-260230 号の被引用関係



念のために、同公開特許公報の被引用関係マッピングを図表 6 - 12 に示した・

(図表 6 - 13) 公開特許公報 2007-211579 号の引用関係特許群



前節の苦味マスキングの特許群表示と同じく、一定のグルーピング化が成立していることがわかる。

6 - 4 閲覧制限技術

本節では、閲覧制限技術のマッピングを行う。引用・被引用関係の起点となる公報は、あらかじめテキスト検索で絞り込んだ公開特許公報 2002-116972 号を利用する。出願日は 2000 年 10 月 11 日、発明の名称は「情報閲覧方法及びシステム並びに情報閲覧用プログラムを記憶した記憶媒体」である。

(図表 6 - 14) 公開特許公報 2002-116972 号の被引用関係

The screenshot shows the YUPASS system interface. At the top, the search criteria are: 公開番号: 2002116972, 引用: 引用文献 (selected), 被引用文献. Below this, the '元文献' (Original Document) section displays the patent details for 2002-116972. The '引用文献' (Cited Documents) section lists various patents, with the entry for patent 11-015840 circled in red. The entry for 11-015840 is: 公開番号: 11-015840, 名称: 情報提示装置方法、情報提示装置システム、記録媒体. The citation count for this patent is 0.

前節までと同様に、被引用件数の最も多い公開特許公報平成 11-015840 の引用を調査する。ここからの引用がないので、公開特許公報平成 11-015840 が重要特許・基本特許の可能性がある。

The screenshot shows the YUPASS system interface for patent 11-015840. The '引用文献' (Cited Documents) section is empty, indicating that this patent has no citations.